

**理学部・理学研究院**

I	研究水準	.....	研究 5-2
II	質の向上度	.....	研究 5-2

## I 研究水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

### 1. 研究活動の状況

期待される水準を上回る

[判断理由]

「研究活動の実施状況」のうち、研究の実施状況については、「Web 科学博物館」や「島原火山都市国際会議」等に見られるようにレベルも高い。研究資金の獲得状況については、リサーチコア研究拠点、研究教育拠点等、大学・学部を挙げて研究に取り組む姿勢が、21世紀 COE プログラムとそれに続くグローバル COE プログラムの採択等につながったことなどは、高い評価を得ている。さらに、「次世代型スーパースター養成プログラム」に採択されたことにより、将来にわたって、優れた研究者を育成する道が開けたことなどは、優れた成果である。

以上の点について、理学部・理学研究院の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、研究活動の状況は、理学部・理学研究院が想定している関係者の「期待される水準を上回る」と判断される。

### 2. 研究成果の状況

期待される水準にある

[判断理由]

「研究成果の状況」について、学術面では、各分野において優れた研究成果が得られており、国際的にレベルの高いジャーナルに発表されている。例えば、ノーベル受賞者(Zwail)の提唱したモデルの誤りを指摘した論文、植物の二酸化炭素依存気孔開閉の論文等がある。これらの状況などは、相応な成果である。

以上の点について、理学部・理学研究院の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、研究成果の状況は、理学部・理学研究院が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

## II 質の向上度

### 1. 質の向上度

大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している

当該組織から示された事例は2件であり、そのすべてが、「大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している」と判断された。

